

BUSINESS REPORT

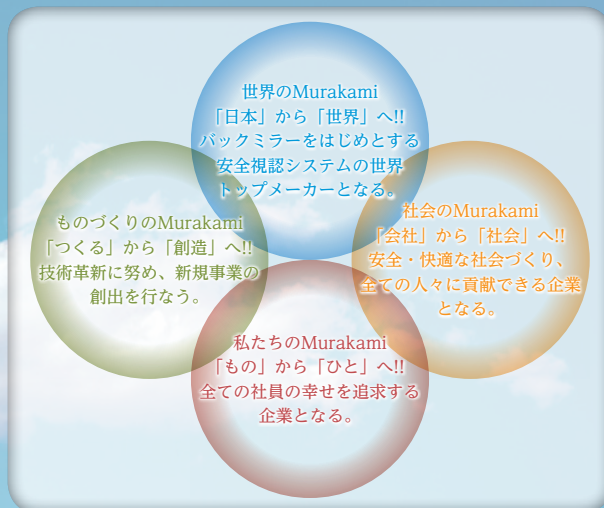
第77期第2四半期報告書 2019年4月1日>>>2019年9月30日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行なっています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

トピックス ~新製品紹介~

簡単に霜取りを実現! 世界初の貯湯式「ヒートドウォッシャー」

当社は、今期、車用ウォッシャー液を加熱・保温し、フロントウィンドウの霜取りを簡単にすることができる世界初の貯湯式「Heated Washer® (ヒートドウォッシャー)」を発売しました。現在、トヨタ自動車株式会社の新型カローラやC-HRに供給を始めており、今後、他車種への展開も予定しています。

「ヒートドウォッシャー」は、走行時に温めたウォッシャー液を魔法瓶構造で保温することで、エンジンを切ったあとも温かいウォッシャー液を約12時間維持できます。寒い日の朝などにフロントウィンドウの霜を素早く取り除き、安全に運転を開始するまでの時間を大幅に短縮します。

当社は、安全視認システムのトップメーカーとして、ドライバーの皆様へ安心・安全・快適を提供する製品の開発に努めるとともに、「ヒートドウォッシャー」のさらなる拡販に向けて取り組んでいきます。

※「Heated Washer」は、当社の登録商標です。



<ヒートドウォッシャー>



<使用イメージ>

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第77期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、自動車用バックミラー販売数量の増加等により、売上高は37,813百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて1,868百万円（5.2%）の増加となりました。

営業利益は受注競争の激化及び増産に向けた設備投資の増加に伴う減価償却費の増加等により3,472百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて138百万円（3.8%）の減少となりました。経常利益は3,733百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて75百万円（2.0%）の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2,455百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて116百万円（4.5%）の減少となりました。

セグメント別の概況

日本では、主力の自動車用バックミラー販売数量の増加等により、売上高は22,916百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて1,094百万円（5.0%）の増加となりました。営業利益は、新製品投入に伴う諸費用及び減価償却費の増加等により1,605百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて109百万円（6.4%）の減少となりました。

アジアでは、タイ及び中国における自動車用バックミラー販売数量の増加等により、売上高は8,860百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて306百万円（3.6%）の増加となりました。営業利益は、減価償

却費の増加等により1,367百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて45百万円（3.2%）の減少となりました。

北米では、メキシコにおける自動車用バックミラー販売数量が安定的に増加したこと等により、売上高は6,035百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて467百万円（8.4%）の増加となりました。営業利益は386百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて18百万円（4.9%）の増加となりました。

中間配当につきましては、11月5日の取締役会におきまして、1株につき24円と決定いたしましたので、お受け取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



代表取締役社長 **村上太郎**

各国の地域性に適応し、 村上市質を世界へ。

国内自動車メーカーの世界戦略を見据え、グローバルな生産体制確立を進めています。生産体制や市場戦略は現地の実情に照準を合わせつつも、村上のものづくりマインドと世界トップクラスの品質は一貫して踏襲しています。販路も日本に留まりません。海外企業へも積極的に拡大しています。

MURAKAMI MANUFACTURING
INDIA PRIVATE LTD.



株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂化成
株式会社エイジー
株式会社村上エクスプレス
株式会社村上開明堂ビジネスサービス

日本

売上構成比
61%



本社
(静岡市)



東京事務所
(東京都千代田区)



藤枝工場 (藤枝市)



Murakami Manufacturing
U.S.A.Inc. (MMUS)

Murakami Germany GmbH (MGG)

アジア

売上構成比
23%



大井川工場 (藤枝市)



築地工場 (藤枝市)

北米

売上構成比
16%



嘉興村上汽車配件有限公司 (MIC)

天津村上汽車配件有限公司 (TMIC)

佛山村上汽車配件有限公司 (FMIC)



PT.Murakami Delloyd Indonesia (MDI)



Murakami Manufacturing
Mexico, S.A. de C.V. (MMME)



MURAKAMI AMPAS (THAILAND)
CO.,LTD. (MATCO)



Murakami Mold Engineering
(Thailand) Co.,Ltd. (MMET)

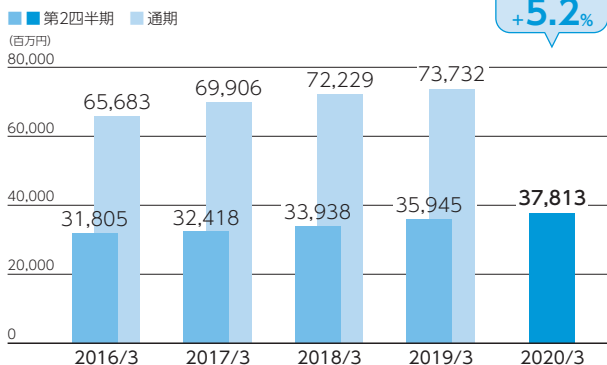


Murakami Manufacturing
(Thailand) Co.,Ltd. (MMT)

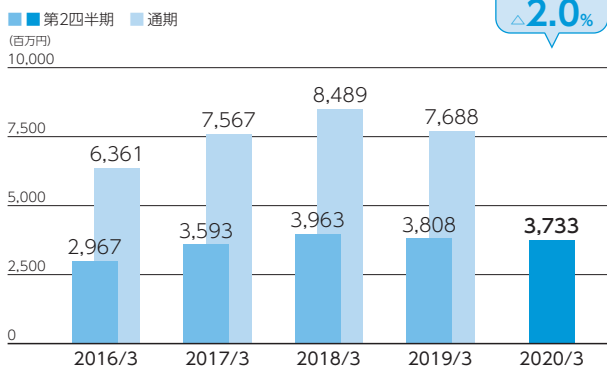


Murakami Corporation
(Thailand) Ltd. (MCT)

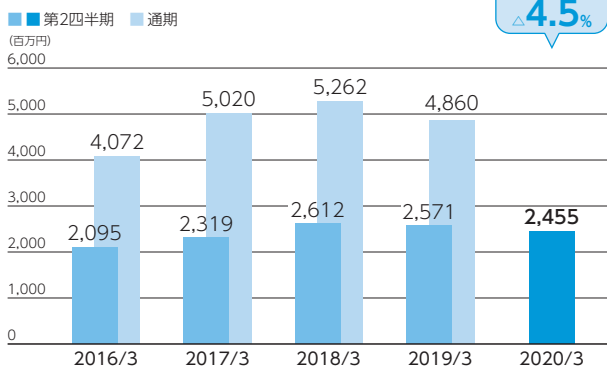
売上高



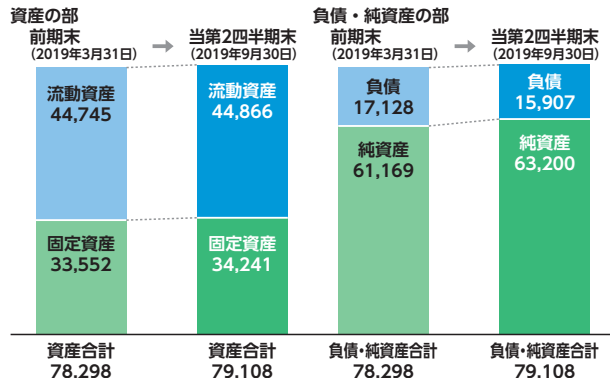
経常利益



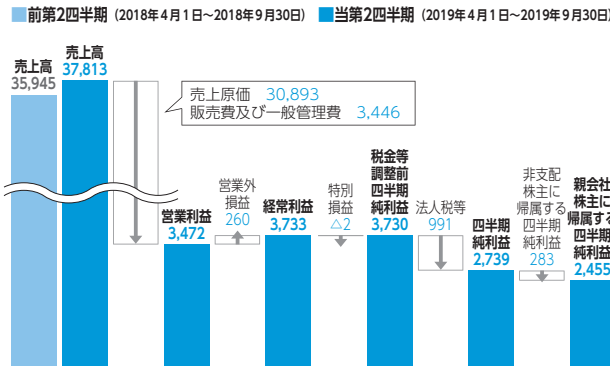
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



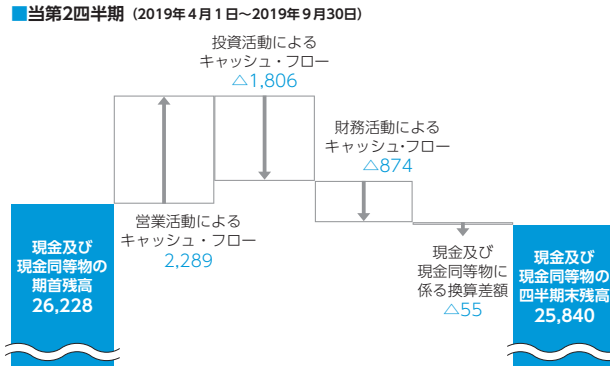
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社の概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 1948年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株

事業内容 自動車用バックミラー、
 ファインガラスの製造
 及び販売
 従業員数 連結：3,089名
 単体：921名

役員

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 専務取締役 奥野 雅治
 専務取締役 望月 義人
 常務取締役 沖本 美敏
 取締役 長谷川 猛
 取締役 マイケル ロンデンバーグ
 取締役 杉澤 達弥
 ※取締役 岩崎 清悟
 ※取締役 力石 晃一

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役

監査役 (常勤) 増井 邦夫
 ※監査役 齋藤 安彦
 ※監査役 櫻井 透

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 服部 有
 常務執行役員 原田 利恵子
 常務執行役員 平沢 方秀

執行役員 菊地 俊明
 執行役員 村松 規行
 執行役員 糟谷 篤
 執行役員 前田 健太
 執行役員 松田 裕昭
 執行役員 吉永 晃
 執行役員 星野 立
 執行役員 増田 達寿

主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市
 東京事務所：東京都千代田区

藤枝工場：静岡県藤枝市
 大井川工場：静岡県藤枝市
 築地工場：静岡県藤枝市

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社エイジー
 株式会社村上エクスプレス
 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.
 MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO., LTD.
 Murakami Mold Engineering (Thailand) Co., Ltd.
 PT. Murakami Delloyd Indonesia
 Murakami Corporation (Thailand) Ltd.
 MURAKAMI MANUFACTURING INDIA PRIVATE LTD.
 佛山村上汽車配件有限公司
 天津村上汽車配件有限公司
 Murakami Germany GmbH

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 1,192名

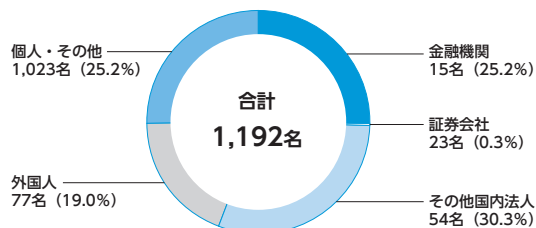
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	14.5
村上太郎	1,424	11.1
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライスド ストック フアンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	817	6.3
AGC株式会社	739	5.7
株式会社三菱UFJ銀行	624	4.8
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.6
株式会社静岡銀行	459	3.5
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカ운 ト ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイーーエイシー	417	3.2
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.1
明治安田生命保険相互会社	347	2.7

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式329,303株を控除して計算しております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) () 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。

<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

